

水道事業会計

営業

令和5年度の水道事業では、年間有収水量842万2597m³（前年度比0.02%増）を各家庭や企業に給水し、料金収入は、16億5448万8千円でした。

最大配水日は1月8日で、1日あたり2万7463m³（前年度比1.17%増）を配水しました。

建設改良

水道管の老朽化に伴う事故などを防止するため、緑ヶ丘二・四丁目地内配水管改良工事や下大利南ヶ丘線配水管改良設計業務などを行いました。維持管理や将来的な更新費用を削減し、水道事業の効率化を図るため、瓦田浄水場中央監視施設外改良工事や南部配水連絡管整備工事などを行いました。

業務量

事項	令和4年度	令和5年度	増減率
給水人口	10万947人	10万1455人	0.50%
給水戸数	4万5772戸	4万6297戸	1.15%
人口普及率	98.61%	98.67%	-
年間総配水量	874万5713m ³	887万3266m ³	1.46%
1人1日あたり給水量	237.4ℓ	239ℓ	0.67%
年間有収水量	842万787m ³	842万2597m ³	0.02%
1日最大配水量	2万7145m ³ (1月25日)	2万7463m ³ (1月8日)	1.17%
料金収入	16億5108万6千円	16億5448万8千円	0.21%

収支

区分	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A - B)
収益的収支	21億1613万5千円	16億9629万5千円	4億1984万円
資本的収支	2億8256万8千円	10億5718万8千円	▲7億7462万円

◇収益的収支とは、経営活動に伴い発生した当年度の水道・下水道事業の収支のことです。また、資本的収支とは、将来の経営活動に備えて行う建設改良事業などの収支を表しています。

◇収益的収支は税抜き、資本的収支は税込みの表示です。

◇資本的収支の不足分は、減価償却費などを賄う給水収益による現金(損益勘定留保資金)などで補てんしました。

◇損益計算書や貸借対照表などの財務諸表は、市ホームページに掲載しています。

●問い合わせ先 企業総務課 ☎(580)1933

下水道事業会計

営業

令和5年度の下水道事業では、912万3851m³（前年度比0.50%減）の下水道使用により、使用料収入は12億512万2千円でした。

令和5年度末の整備済面積は1469ヘクタール（ha）となり（計画面積1532 haに対して95.9%）、人口普及率は99.9%に達しています。

建設改良

汚水施設の老朽化に伴う事故などを防止するため、山田一・二丁目地内外人孔蓋改築工事や雑餉隈処理分区外汚水管調査業務などを行いました。都市型災害による浸水対策のため、瑞穂町二丁目地内雨水施設築造工事などを行いました。

業務量

事項	令和4年度	令和5年度	増減率
整備済面積	1467ha	1469ha	0.14%
水洗化済人口	10万2140人	10万2589人	0.44%
水洗化戸数	4万6276戸	4万6781戸	1.09%
人口普及率	99.9%	99.9%	-
年間有収水量	916万9821m ³	912万3851m ³	▲0.50%
料金収入	12億7889万7千円	12億512万2千円	▲5.77%

※令和5年度は物価高騰支援策として、下水道使用料基本料金の免除実施（令和5年7月～令和6年2月分）のため、前年度より料金収入が減となっている。

収支

区分	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A - B)
収益的収支	20億9081万6千円	18億717万3千円	2億8364万3千円
資本的収支	3億4149万5千円	11億8524万6千円	▲8億4375万1千円